

くまもと経済

C 表紙の人
Cover Story

城野 斉
事業領域拡大し九州のシェア獲得へ
城野印刷所社長

2 2023
月号
VOL.500

観光に戻り 熊本城は 100 万人に

導入進むメタバース ものづくりや採用などビジネスに活用
脅威増すDX時代のサイバーリスク 被害半数は中小企業

特集

大学、高校生らがビジネスプランを披露

崇城大学

第8回崇城大ビジネスプランコンテスト

車の乗り降りが
楽になる
新たな車いす

崇城大学 KAY



△優勝したチーム・KAYのプレゼン風景

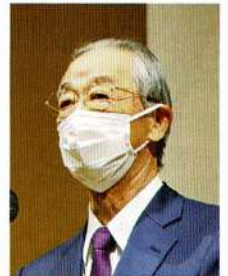


▲コンテスト終了後記念写真に納まる入賞者および審査員

▶記念写真に納まるチーム・KAYのメンバーら。左端は中山学長



内藤 美恵
県商工労働部産業振興局
局長



中山 峰男
崇城大学学長

崇城大学（熊本市西区池田4丁目、中山峰男学長）は12月10日、同大SOLAホールを会場に第8回崇城大学ビジネスプランコンテストを開催した。

起業を目指す高校生、大学生らを対象に毎年開催しているもの。当日は応募総数107件から2次審査を勝ち抜いた9組がビジネスプランを披露。選考の結果、優勝は崇城大学、チーム・KAYの「車の乗り降りが簡単になる新たな車いす」が、準優勝は同じく崇城大学、チーム・Proセントラの「畜産現場で廃棄されるプラセンタ（胎盤）を利用した家畜・ペット用サプリメント開発販売」が受賞した。優勝したチーム・KAYには副賞として賞金50万円が、準優勝のチーム・Proセントラには同じく10万円が贈られた。

同コンテストは、市場性、収益性、独創性、実現可能性、プレゼンテーションの内容などを審査基準に、2014年から新規市場開拓を目指すビジネスモデルを対象に毎年開かれている大会。大会の様子は、昨年

（企画開発部・徳山文雄）